

## 複数台の車両を補助申請する場合の記載例

【様式17】別紙1 ※実在の会社等ではありません。

### 廃棄物収集運搬車の低燃費化事業実施計画書

事業の名称	廃棄物収集運搬車の低燃費化事業	
事業実施の代表者	会社名等 所属 所在地 役職 氏名 TEL FAX E-mail	廃棄物研究株式会社  〒130-0026 東京都墨田区両国×-××-× 代表取締役社長 ○○ ○○ 03-××××-×××× 03-××××-×××× sannkourei@jwrf.or.jp
事業実施の担当者	会社名等 所属 所在地 役職 氏名 TEL FAX E-mail	廃棄物研究(株) 新潟支店 新潟県新潟市中央区×-×-× 新潟支店長 ○○ ○○ 025-××××-×××× 025-××××-×××× sannshourei@jwrf.or.jp
本実施計画の実質の作成者であること。		
経理責任者	会社名等 所属 所在地 役職 氏名 TEL FAX E-mail	廃棄物研究(株) 新潟支店 新潟県新潟市中央区×-×-× 新潟支店経理部長 ○○ ○○ 025-××××-×××× 025-××××-×××× sanshourei@jwrf.or.jp
共同事業者の代表者	会社名等 所属 所在地 役職 氏名 TEL FAX E-mail	
共同事業者の担当者	会社名等 所属 所在地 役職 氏名 TEL FAX E-mail	

事業の目的・概要	先進環境対応車両を選定した理由等を記入する。 <b>(記入例)</b> ・廃棄物収集運搬車の買い替えに当たり、先進環境対応の車両を選定することにした。 ・環境に配慮する企業であることをアピールするため、先進環境対応の車両を選定することにした。 ・二酸化炭素排出量の削減のため、先進環境対応の車両を選定することにした。			
補助対象車両（廃棄物の収集運搬用に供する先進環境対応型ディーゼルトラック）  <b>※架装業者名以外は、自動車検査証に記載されている事項を転記する。</b>	登録年月日	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)		
	登録番号	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)		
	車台番号	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)		
	車名（メーカー）・型式	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)		
	架装業者	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)		
	車体の形状	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)		
	用途	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)		
	所有者の氏名又は名称	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)		
	所有者の住所	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)		
	使用の本拠の位置	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)		
区分 <sup>注1</sup>	(大型)	(中型)	(小型)	
台数	台	3 台	2 台	
抵当権の有無	(複数台の場合は別紙1-1に記載する。)			
補助対象車両の使用計画	補助対象車両の用途	具体的に記載する。 <b>(記載例)</b> 別紙1-2の主な用途のとおり。		
	年度間走行距離 (km)	<b>(別紙1-2のとおり)</b> 88,700 (km)		
事業の効果 <b>【CO2削減量及び費用対効果（CO2を1トン削減するために必要な経費）】</b> <sup>注2、3</sup>	<b>【CO2削減量】</b> ( <b>8.834</b> t-CO2/年) ☆別紙1-3-1の計算書の総計を記入する。 <b>【費用対効果】</b> ( <b>183,951円</b> /t-CO2) ☆別紙1-3-2の計算書のCO2削減コストを記入する。 <b>【実績燃費】</b> 燃費 (km/L) の根拠は別紙に記入。  * 燃料 (軽油) のCO2排出係数は2.619 (kg-CO2/l) とする。 <b>※公募要領P20の注2、3に従って算出する。</b>			
事業実施に関連する事項	*他の補助金との関係を記入する。 <b>(記入例)</b> 他の補助金は、受けていない。  代替車両のある場合には、代替車両の実績 (年間走行距離÷年間使用燃料量) を記載する。 別紙1-4 実績燃費計算シートに記入のこと。			

【記載例】 中型（増車2台・買替1台） 小型（増車・買替各1台） の場合

別紙1-1

平成28年度低炭素型廃棄物処理支援事業補助金（廃棄物収集運搬車の低燃費化事業）

補助対象車両一覧

（応募申請者名： ）

No1

		登録年月日	登録番号	車台番号	車名(メーカー)・型式	架装業者	車体の形状	用途	所有者の氏名又は名称	所有者の住所	使用の本拠の位置	抵当権の有無
大型	1号車											
	2号車											
	3号車											
	4号車											
	5号車											
中型	1号車	平成28年4月22日	新潟み800 1234	FC1EXE-12345	〇〇・TKG-GC7×××	〇〇(株)	塵芥車	特種	廃棄物研究(株)	新潟県新潟市中央区本町×-×-×	同左	無
	2号車	平成28年6月4日	新潟り800 5678	FD85R-6789	××・TKG-FC9×××	××(株)	糞尿車	特種	廃棄物研究(株)	新潟県新潟市中央区本町×-×-×	同左	無
	3号車	平成28年11月24日	新潟の800 9012	FE7RP-0123	□□・TKG-FC×××	□□(株)	塵芥車	特種	廃棄物研究(株)	新潟県新潟市中央区本町×-×-×	同左	無
	4号車											
	5号車											
小型	1号車	平成28年10月5日	新潟え800 3456	FRR-4567	◇◇・TPG-NPR8×××	◇◇(株)	塵芥車	特種	廃棄物研究(株)	新潟県新潟市中央区本町×-×-×	同左	無
	2号車	平成28年12月14日	新潟う800 7890	FSS-8901	△△・TPG-NJ×××	△△(株)	塵芥車	特種	廃棄物研究(株)	新潟県新潟市中央区本町×-×-×	同左	無
	3号車											
	4号車											
	5号車											

・抵当権の有無  
補助対象車両に抵当権を設定した場合は「有」と記載し別途様式第19を提出する。設定しない場合は、「無」と記載する。

【記載例】中型(増車2台・買替1台)小型(増車・買替各1台)の場合

年度間走行距離一覧表

別紙1-2

No.1

	主な用途		出発地(A)	経由地	到着地(B)	(A)から(B)までの距離	移動回数	1日の走行距離	年度間稼働日数	年度間走行距離
大型 1号車		代表的なコース						km		km
		その他の走行距離	—	—	—	—	—	—	—	km
計		—	—	—	—	—	—	—	—	
大型 2号車		代表的なコース						km		km
		その他の走行距離	—	—	—	—	—	—	—	km
計		—	—	—	—	—	—	—	—	
大型 3号車		代表的なコース						km		km
		その他の走行距離	—	—	—	—	—	—	—	km
計		—	—	—	—	—	—	—	—	

	主な用途		出発地(A)	経由地	到着地(B)	(A)から(B)までの距離	移動回数	1日の走行距離	年度間稼働日数	年度間走行距離
中型 1号車	新潟市内の一般家庭及び飲食業者の収集運搬に供する。	代表的なコース	新潟市中央区	市内循環	新潟市中央区	32km	2	64km	260日	16640km
		その他の走行距離	—	—	—	—	—	—	—	2,760km
計		—	—	—	—	—	—	—	—	19,400km
中型 2号車	新潟市内のオフィスビルのビルピット汚泥の収集運搬に供する。	代表的なコース	新潟市中央区	三条市	新潟市中央区	72km	1	72km	130日	9,360km
		その他の走行距離	—	—	—	—	—	—	—	3,940km
計		—	—	—	—	—	—	—	—	13,300km
中型 3号車	新潟市内の一般家庭及び飲食業者の収集運搬に供する。	代表的なコース	新潟市中央区	越後湯沢	新潟市中央区	141km	1	141km	75日	10,575km
		その他の走行距離	—	—	—	—	—	—	—	4,125km
計		—	—	—	—	—	—	—	—	14,700km

	主な用途		出発地(A)	経由地	到着地(B)	(A)から(B)までの距離	移動回数	1日の走行距離	年度間稼働日数	年度間走行距離
小型 1号車	新潟市内のオフィスビルの産業廃棄物であるプラスチック類等の収集運搬に供する。	代表的なコース	新潟市中央区	三条市・越後湯沢	新潟市中央区	282km	1	282km	60日	16,920km
		その他の走行距離	—	—	—	—	—	—	—	6,280km
計		—	—	—	—	—	—	—	—	23,200km
小型 2号車	新潟市内のオフィスビルの産業廃棄物であるプラスチック類等の収集運搬に供する。	代表的なコース	新潟市中央区	市内循環	新潟市中央区	32km	2	64km	260日	16,640km
		その他の走行距離	—	—	—	—	—	—	—	1,460km
計		—	—	—	—	—	—	—	—	18,100km
小型 3号車		代表的なコース						km		km
		その他の走行距離	—	—	—	—	—	—	—	km
計		—	—	—	—	—	—	—	—	

合計	88,700km
----	----------

※「代表的なコース」と「年度間走行距離」の計を入力すると自動的に「その他の走行距離」が算出されます。

\* 建設廃材や震災等による廃棄物の処理に供する収集運搬車など、代表的なコースに適さない場合の走行距離は実績値などを「計」欄に入力、「代表的なコース」の年度間走行距離欄は「0」を入力してください。

【記載例】 中型（増車2台・買替1台） 小型（増車・買替各1台） の場合

事業の効果 【CO2削減量（t-CO2/年）】

※着色部分に入力

別紙1-3-1

①走行距離(km)×②排出係数(kg-CO2/l) — ①走行距離(km)×②排出係数(kg-CO2/l)  
 ③当該車両と同等の運搬能力を有する車両の燃費(km/l)×1,000 ④先進環境対応型の燃費×1,000

		①走行距離 (km)	②排出係数 (a) (kg-CO2/l)	③当該車両と同等の運搬能力を有 する車両の燃費(b)(km/l)	④先進環境対応型の燃費 (km/l)	CO2削減量(t-CO2/年)
大型	1号車					
	2号車					
	3号車					
	4号車					
	5号車					
	合計	—	—	—	—	0.000
中型	1号車	19,400	2.619	6.52	7.17	0.706
	2号車	13,300	2.619	5.34	7.17	1.664
	3号車	14,700	2.619	4.50	7.17	3.185
	4号車					
	5号車					
	合計	—	—	—	—	5.555
小型	1号車	23,200	2.619	7.23	8.56	1.305
	2号車	18,100	2.619	6.31	8.56	1.974
	3号車					
	4号車					
	5号車					
	合計	—	—	—	—	3.279
	総計	—	—	—	—	8.834

- ・ (a)燃料（軽油）のCO2排出係数は2.619（kg-CO2/l）とする。
- ・ (b)③及び④については、車両メーカーの重量者モード燃費とする。
- ・ ①走行距離は代替車の実績年度間走行距離を入力してください。増車等の場合は想定走行距離を入れてください。
- ・ 6台以上の申請がある場合は上表の行を追加して使用してください。

**【記載例】 中型（増車2台・買替1台） 小型（増車・買替各1台） の場合**

事業の効果 【費用対効果（CO2を1トン削減するために必要な経費）（t-CO2/年）】（着色部分に入力）

**別紙1-3-2**

CO2削減コスト（円/t-CO2）=補助対象経費支出予定額（円）÷（年間CO2排出量削減量（t-CO2/年）×耐用年数（年））

		補助対象経費支出 予定額（円）	年間CO2排出量削減量 （t-CO2/年）	耐用年数(年)※	CO2削減コスト （円/t-CO2）
大型	1号車				
	2号車				
	3号車				
	4号車				
	5号車				
計		0	0.000	—	0
中型	1号車	1,504,082	0.706	4	532,606
	2号車	1,503,036	1.664	4	225,816
	3号車	1,879,592	3.185	4	147,534
	4号車				
	5号車				
計		4,886,710	5.555	—	905,956
小型	1号車	604,285	1.305	4	115,763
	2号車	1,009,122	1.974	4	127,801
	3号車				
	4号車				
	5号車				
計		1,613,407	3.279	—	243,564
CO2削減コスト		6,500,117	8.834	4	183,951

※ 耐用年数は4年とする。

【記載例】 中型（増車2台・買替1台） 小型(増車・買替各1台) の場合

## 別紙1-4

### 実績燃費計算シート（参考）

※着色部に入力

		実績走行距離 (km)	実績燃料使用量 (ℓ)	燃費 (km/ℓ)
大型	1号車			
	2号車			
	3号車			
	4号車			
	5号車			
合計		0	0	
中型	1号車	19,400	5,120	3.78
	2号車	13,300	7,810	1.7
	3号車	14,700	8,790	1.67
	4号車			
	5号車			
合計		47,400	21,720	
小型	1号車	23,200	9,590	2.41
	2号車	18,100	7,950	2.27
	3号車			
	4号車			
	5号車			
合計		41,300	17,540	
総合計		88,700	39,260	

様式第17【別紙2】【記載例】中型（増車2台・入替1台）小型（増車・買替各1台）の場合

廃棄物収集運搬車の低燃費化事業経費内訳

※記載金額は、実際の数値とは異なります。

①総事業費	②寄付金その他の収入	③差引額 (①-②)
先進環境対応型ディーゼルトラックの購入価格（オプション装備品※2を含む）を記載する。別紙2-1の④-アの総額を記載する。 56,654,000円	先進環境対応型ディーゼルトラックの購入に当たり寄付等を受けた場合は、その額を記載する。 0円	別紙2-1③の総額を記載する。 56,654,000円
④補助対象経費支出予定額 （補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の価格との差額（下記アからイを差し引いた金額） （注：複数台の場合は別紙に積算内訳を記載し、添付すること）		別紙2-1④の総額を記載する。 6,500,117円
ア．先進環境対応型ディーゼルトラック本体価格（補助対象車両） 先進環境対応型ディーゼルトラックの購入価格（標準装備※2を含む）を記載する。別紙2-1の④-アの総額を記載する。		56,654,000円
イ．補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の価格（※） 公募要領22Pの※に基づき算出した金額を記載する。別紙2-2の価格計算内訳書から求めた合計額を記載する。		50,153,883円
⑤基準額		5,800,000円
別紙2-1⑤に記載する。		
(別紙2-1⑥の総額を記載する。)		(別紙2-1⑦の総額を記載する。)
⑥選定額 (④と⑤の少ない方の金額)		5,604,285円
⑦補助基本額 (③と⑥の少ない方の金額を記載)		5,604,285円
⑧補助金所要額 (⑦×1/3) (千円未満切り捨て)		1,865,000円
(別紙2-1⑧の総額を記載する。)		

補助対象経費支出予定額内訳		
経費区分・費目	金額 (円)	積算内訳 (円)
④の欄の積算内訳を記載する。		
ア 先進環境対応型ディーゼルト ラック	56,654,000円	1. 中型 (金額は1円単位で記載する) (1) 一号車 ( 8トン) 13,000,000円 (2) 二号車 ( 8トン) 13,000,000円 (3) 三号車 (10トン) 16,250,000円 計 42,250,000円  2. 小型 (1) 一号車 (4.5トン) 5,401,000円 (2) 二号車 (7.5トン) 9,003,000円 計14,404,000円 合計 56,654,000円  ※車両購入時の見積書・請求書・支払いを証する書類 (領収書等) による金額を記載する。
イ 補助対象車両と同等の運搬能 力を有する車両の価格	50,153,883円	1. 中型 (金額は1円単位で記載する) (1) 一号車 ( 8トン) 11,495,918円 (2) 二号車 ( 8トン) 11,496,964円 (3) 三号車 (10トン) 14,370,408円 計37,363,290円  2. 小型 (1) 一号車 (4.5トン) 4,796,715円 (2) 二号車 (7.5トン) 7,993,878円 計12,790,593円 合計 50,153,883円  ※代替車両のない場合は、平成21年に車両をしたも のと仮定し、ディーラーなどからの「価格証明」等 によるものに消費者物価指数を加味して算出した額を記 載する。(積算根拠は別紙2-2のとおり)
合計 (ア-イ)	6,500,117円	

購入予定の主な財産の内訳（一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの）（内訳は別紙でも可）					
名称	仕様	数量	単価（円）	金額（円）	購入時期
（メーカー・通称を記載する。）	（型式・車体総重量を記載する。）				
〇〇レンジー	TKG-GC7××× (10t)	1	16,250,000円	16,250,000円	平成28年6月
△△エルゴ	TPG-NPR8××× (7.5t)	1	9,003,000円	9,003,000円	平成28年6月
××プロフィン	TKG-FC9××× (8.0t)	1	13,000,000円	13,000,000円	平成28年8月
□□レンジャー	TKG-FC××× (8.0t)	1	13,000,000円	13,000,000円	平成28年9月
◇◇エルム	TPG-NJ××× (4.5t)	1	5,401,000円	5,401,000円	平成28年9月 ※自動車検査証に記載されている登録年月を記載する

注1： 「大型」とは、ベース車両の車両総重量が12トン超のものをいう。

注2： 「中型」とは、ベース車両の車両総重量が7.5トン超12トン以下のものをいう。

注3： 「小型」とは、ベース車両の車両総重量が3.5トン超7.5トン以下のものをいう。

注4： 本内訳に、見積書又は計算書等を添付する。

注5： 消費税は原則除く。

※1 「補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の価格」は、以下により算出してください。

(1) 代替とした補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両がある場合

① 代替とした補助対象車両と同等の運搬能力の車両の購入当時の領収書等の額（ただし、領収書若しくはその他の資料（例えば代替車両の自動車検査証等）により、代替車両が補助対象車両と同等の運搬能力であることを証明していただく必要があります。）に消費者物価指数（下記抜粋の表を参照）を乗じて現時点の補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の価格を算出してください。

《1. の①の場合の計算式》

補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の価格 = 代替とした補助対象車両と同等の運搬能力の車両の購入当時の領収書等の額 × 平成27年の消費者物価指数 / 代替車両の購入年の消費者物価指数

② ①の領収書等がない場合は、代替とした補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の購入時の「価格証明書」を補助対象車両を購入したディーラー等から取得し、価格証明書の額に消費者物価指数（下記抜粋の表を参照）を乗じて、現時点の補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の価格を算出してください。

《1. の②の場合の計算式》

補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の価格 = 代替とした補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の購入時の「価格証明書」の額 × 平成27年の消費者物価指数 / 代替車両の購入年の消費者物価指数

(2) 代替とした補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両がない場合（増車の場合若しくは代替車両と車両総重量が異なる場合）

補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両を平成21年に購入した場合の「価格証明書」(FAQ 問3-3を参照)を補助対象車両を購入したディーラー等から取得し、価格証明書の額に消費者物価指数（下記抜粋の表を参照:100/98）を乗じて、現時点の補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の価格を算出してください。

《2. の場合の計算式》

補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の価格 = 補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の平成21年に購入した場合の「価格証明書」の額 × 100/98（消費者物価指数）

【総務省統計局 消費者物価指数（自動車）抜粋】

年	消費者物価指数	年	消費者物価指数
2002（平成14年）	98.8	2009（平成21年）	98
2003（平成15年）	98.6	2010（平成22年）	97.4
2004（平成16年）	98.2	2011（平成23年）	97.3
2005（平成17年）	98.7	2012（平成24年）	97.5
2006（平成18年）	98.6	2013（平成25年）	97.1
2007（平成19年）	98.8	2014（平成26年）	98.8
2008（平成20年）	98.8	2015（平成27年）	100

※2 オプション装備品について

下記のオプション品については、原則、補助対象経費（標準装備品）に含めることを認めることとする。

ただし、審査により、過大なオプション装備品と判断した場合には、補助対象外とする場合があります。

1. 安全走行等に必要な装備品
2. 環境保全（燃費改善に資する等）に必要な装備品
3. 廃棄物の収集運搬に必要な装備品

【記載例】中型(増車2台・買替1台)小型(増車・買替各1台)の場合

別紙2-1

平成28年度低炭素型廃棄物処理支援事業補助金(廃棄物収集運搬車の低燃費化事業)

NO.1

補助対象経費支出予定額の内訳【別紙2経費内訳の④】

(応募申請者名: )

		①総事業費 (1台毎の購入費)	②寄付金その他の収入	③差引額 (①-②)	④補助対象経費 支出予定額	④-ア 先進環境対応型ディーゼル トラック本体価格	④-イ 補助対象車両と同等の運搬 能力を有する車両の価格	⑤基準額	⑥選定額 (④と⑤の少ない方の額)	⑦補助基本額 (③と⑥の少ない方の金額)	⑧補助金所要額 (⑦×1/3)
大型	1号車			0円	0円						0円
	2号車			0円	0円						0円
	3号車			0円	0円						0円
	4号車			0円	0円						0円
	5号車			0円	0円						0円
	計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
中型	1号車	13,000,000円	0円	13,000,000円	1,504,082円	13,000,000円	11,495,918円	1,400,000円	1,400,000円	1,400,000円	466,000円
	2号車	13,000,000円	0円	13,000,000円	1,503,036円	13,000,000円	11,496,964円	1,400,000円	1,400,000円	1,400,000円	466,000円
	3号車	16,250,000円	0円	16,250,000円	1,879,592円	16,250,000円	14,370,408円	1,400,000円	1,400,000円	1,400,000円	466,000円
	4号車			0円	0円						0円
	5号車			0円	0円						0円
	計	42,250,000円	0円	42,250,000円	4,886,710円	42,250,000円	37,363,290円	4,200,000円	4,200,000円	4,200,000円	1,398,000円
小型	1号車	5,401,000円	0円	5,401,000円	604,285円	5,401,000円	4,796,715円	800,000円	604,285円	604,285円	201,000円
	2号車	9,003,000円	0円	9,003,000円	1,009,122円	9,003,000円	7,993,878円	800,000円	800,000円	800,000円	266,000円
	3号車			0円	0円						0円
	4号車			0円	0円						0円
	5号車			0円	0円						0円
	計	14,404,000円	0円	14,404,000円	1,613,407円	14,404,000円	12,790,593円	1,600,000円	1,404,285円	1,404,285円	467,000円
	総額	56,654,000円	0円	56,654,000円	6,500,117円	56,654,000円	50,153,883円	5,800,000円	5,604,285円	5,604,285円	1,865,000円

「④-ア」の価格は「①」の購入費から安全走行、環境保全(燃費改善に資する等)及び通常走行に必要な装備品以外の過大なオプションを差し引いた価格としてください。

【記載例】中型(増車2台・買替1台)小型(増車・買替各1台)の場合

平成28年度低炭素型廃棄物処理支援事業補助金(廃棄物収集運搬車の低燃費化事業)

別紙2-2

価格計算内訳書(補助対象車両と同等な運搬能力を有する車両の価格)

(応募申請者名: )

【別紙2経費内訳の④のイ欄】

No.1

	補助対象車両の 運搬能力	代替車両が補助対象車両と 同等の運搬能力の場合(A)		代替車両がない場合(B) (代替車両が補助対象車両と異なる 運搬能力の場合を含む)	購入年の消費者 物価指数(C)	補助対象車両と同等の運搬 能力を有する車両の価格
		代替車両の 購入時の価格(a)	代替車の購入年	平成21年購入時の価格(b)		
大型	1号車					
	2号車					
	3号車					
	4号車					
	5号車					
中型	1号車	3.0t			98	11,495,918
	2号車	3.5t	11,359,000	平成19年	98.8	11,496,964
	3号車	4.5t			98	14,370,408
	4号車					
	5号車					
小型	1号車	2.0t	4,672,000	平成22年	97.4	4,796,715
	2号車	2.5t			98	7,993,878
	3号車					
	4号車					
	5号車					

(a)の根拠資料として、購入時の価格の証明書類として、代替車両の購入時の領収書等を添付すること。この場合、代替車両の運搬能力を証明する書類(領収書に運搬能力の記載があれば領収書、記載がない場合は自動車検査証書等)を併せて添付すること。

代替車両の運搬能力を証明する書類がない場合には、代替とした補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両の購入時の「価格証明書」をディーラー等から取得し、添付すること。

(b)代替車両がない場合は、補助対象車両と同等の運搬能力を有する車両を平成21年に購入した車両とし、その「価格証明書」を補助対象車両を購入したディーラー等から取得し、添付すること。